



小学生・中学生の皆さんへ

2019年[平成31年]

1.25
No.122

発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報 Jr

ARAKAWA KUHO JUNIOR

ジュニア

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



モノづくりの街 あらかわ

モノづくりの街として知られるあらかわには、多くの人々から親しまれる「荒川ブランド」の商品があります。金網で作られた世界初の折り紙「おりあみ」もそのひとつ。今回は、ジュニア記者たちがおりあみの工場見学と作品作りに挑戦しました。



「おりあみ/ORIAMI®」の工場見学！



おりあみで「石川ローズ」作りに挑戦！



「おりあみ」は、極細線の金属から作られていて、布のようにしなやかで紙のように張りがあり、紙の折り紙と同じように色々なものを折ることができるよ。紙の折り紙と比べてしっかりと作品の形を保てる、世界初のすごい折り紙だね！



問い合わせ 経営支援課 内線459

次は3月に発行する予定です



あらかわのモノづくりの現場を見に行こう!

峡田小学校6年生のジュニア記者が、おりあみを作っている石川金網の工場取材しました。工場ではおりあみ以外にも、自動車内部のフィルターとして使われる金網などが作られています。普段は見ることのできない工場の裏側を見せてもらいました。

おじゃまします

入り！

おりあみって どうやって作るの？

石川金網株式会社は、1922年の創業から90年以上も金網の製造と販売を行っている歴史ある企業です。おりあみが誕生したきっかけは、職人さんの遊び心で、工業用の金網で折り鶴を折ったところ、社内で評判になったことで、その後商品化することになりました。薄く繊細なおりあみが、どのようにしてできあがるのか見てみましょう。

金網の材料を見つけた!

▼ケガをしないように革手袋をして工場へ。ロール状の金網を持ってみると、ずっしり重い!



貴重な瞬間をカメラで撮影するよ

秋山哲平くん

スタート!

石川金網株式会社

▶いよいよ取材スタート。一眼レフのカメラを持って気合い十分!
▼「今日はよろしくお願いします!」と、工場を案内してくれる工場長の奥津学さんにごあいさつ



初めての工場見学に行きます!



塚野陽菜さん

挑戦!

「石川ローズ」を折ってみよう!

おりあみ体験開始!

▲折り図を見ながら作ります。間違えてもやり直せるので大丈夫!



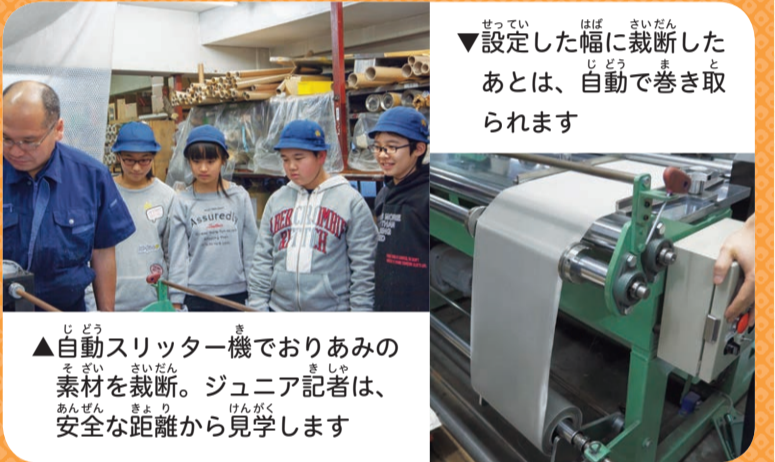
いよいよ、おりあみ体験! 上手に折れるかな?



許子夷さん

おりあみの素材を横に裁断!

▼設定した幅に裁断したあとは、自動で巻き取られます



▲自動スリッター機でおりあみの素材を裁断。ジュニア記者は、安全な距離から見学します

おりあみの素材を縦に裁断!

▼あっという間に100枚のおりあみに裁断されます



▲素材を別の裁断機で縦に裁断して正方形に。その様子を見守ります

おりあみ完成!

▲金網とは思えないしなやかさ! 色もとてもキレイ



ここで検品します

破れたり傷ついたりしたものが混ざっていないか、職人さんが丁寧に確かめます。



ゴール!

感想を聞きました!

テレビで紹介されたおりあみを初めて見ました。キレイなバラができてうれしいです。



紙の折り紙と違って難しいところもあったけど、とても楽しかったです。



木綿用で折り紙が苦手な僕もバラが折れました。次は鶴も折りたいな。



仲さんの「石川ローズ」の折り方の説明がわかりやすかったです。おりあみってすごい!



森智哉くん

だんだん、バラの形になってきた!



▲お互いに教え合いながら、おりあみを楽しみ秋山くんと森くん

キレイなバラを完成させるぞ!



荒川区は、戦前から産業の街として多種多様な産業が発展しており、中でもモノづくりの企業の割合が高いことが特徴です。しかし、年々、モノづくりの企業は減少しています。荒川区のモノづくりには、世界に通用する高い技術があり、次の世代へつなげていく必要があります。

荒川区にある「モノづくり見学・体験スポット」を探そう!

区内には石川金網だけでなく、たくさんのモノづくりの企業があります。「モノづくり見学・体験スポット」では、工場・工房で製造工程の見学やモノづくりの体験ができます。詳しくは「モノづくり見学・体験スポットガイド」を見てね。

※必ず事前に電話予約をしましょう。認定看板が自印です。

モノづくり見学・体験スポット

詳しくはこちら

問合せ 観光振興課 内線461

石川金網株式会社
問合せ 荒川区荒川5-2-6 ☎3807-9761

1面のイノシシと鶴のおりあみ作品は、日本折紙協会認定講師・日本折紙学会折紙指導員を務める宮本眞理子先生の作品です。



あらかわっ子 ランキング

あらかわ区報Jr.の新企画、あらかわっ子ランキングが登場！荒川区立の小学生(4~6年生)と中学生のみんなにアンケートに答えてもらいました。その中から4つのランキングを発表します。さて、どんな結果かな？

一番好きな授業は？

「体育が一番人気だね！」
小学生も中学生も体育が好きなんだね！国語より算数(数学)の順位が高いということは、今は理数系が人気なのかな？

科目	割合
体育	35%
図画工作	18%
算数	10%
音楽	8%
理科	7%
家庭科	6%
社会	5%
その他	3%
国語	3%
総合的な学習	2%
英語	2%
道徳	1%

科目	割合
保健体育	25%
社会	14%
数学	11%
音楽	11%
美術	9%
英語	8%
理科	6%
技術・家庭	5%
その他	5%
国語	4%
道徳	2%

好きな学校行事は？

「遠足・移動教室が大人気！」
遠足・移動教室が圧倒的な1位！みんなで遠くに出かけるのはワクワクするよね。みんなで力を合わせる運動会や文化祭も楽しいね。

行事	割合
遠足・移動教室	45%
運動会	19%
文化祭	7%
音楽会	6%
卒業式	3%
入学式	1%
その他	5%
学芸会	3%
始業式	2%
展示会	2%

行事	割合
遠足・移動教室	41%
運動会	25%
文化祭	11%
音楽会	4%
卒業式	3%
入学式	1%
その他	7%
学芸会	3%
始業式	2%
展示会	2%

あらかわ区にある施設で一番よく行くところは？

「ゆいの森あらかわ」が、小学生も中学生もよく利用しているんだね。「その他」と答えた人は、どこの施設に行っているのか気になるね！」

施設	割合
ひろば館・ふれあい館	21%
ゆいの森あらかわ	21%
その他	18%
荒川総合スポーツセンター	17%
図書館	12%
あらかわ遊園	5%
荒川自然公園	5%
荒川ふるさと文化館	1%

施設	割合
ゆいの森あらかわ	35%
その他	23%
ひろば館・ふれあい館	10%
図書館	10%
荒川総合スポーツセンター	15%
荒川ふるさと文化館	1%
あらかわ遊園	3%
荒川自然公園	3%

あらかわ区報Jr.で扱ってほしいテーマは？

「男の子は「漫画・アニメ」、女の子は「季節のイベント」が1位！なるほど。今年のテーマはどうしようかな。お楽しみにね！」

テーマ	割合
漫画・アニメ	31%
スポーツ全般	26%
その他	23%
クリスマス、バレンタインなどの季節のイベント	8%
ものづくり体験	7%
社会のしくみ、制度、社会福祉	5%

テーマ	割合
クリスマス、バレンタインなどの季節のイベント	25%
漫画・アニメ	24%
その他	20%
ものづくり体験	14%
スポーツ全般	12%
社会のしくみ、制度、社会福祉	5%

Topics

ひぐらし小の上村くんが、読売ジャイアンツジュニアのメンバーに選ばれました！

11月28日、少年野球チーム・ツールズジュニアの上村晃平くん(ひぐらし小6年)が、読売ジャイアンツジュニアのメンバーに選出されたことを西川区長へ報告に訪れました。上村くんは、プロ野球12球団のジュニアトーナメント(12月27日~29日・札幌ドーム)に出場しました。



▲西川区長にジャイアンツジュニア選出の報告をする上村くん

【お詫びと訂正】
第121号4面「平成30年度荒川区文化祭」の展示併句入賞者の名前(よみがな)に誤りがありました。南千住第二中学校の岩崎母果さんの正しいよみがなは、「いわさきまいか」さんです。お詫びして訂正します。

問い合わせ 生涯学習課 内線3355

あらかわ 今昔ものがたり 日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234
野尻 執筆 野尻館長

その122 尾久の十三坊塚 あらかわにも古墳群があった!?

昨年秋、世界最大のお墓、大阪府堺市にある仁徳天皇陵古墳(大山古墳)の発掘調査のニュースが飛び交ったね。古墳とは、3世紀後半~7世紀頃に土を盛って築かれた大きなお墓のこと。大王(のちの天皇)や豪族が自らの権威を示そうとして造ったんだ。九州から東北地方まで各地で確認され、埴輪や鏡・剣・玉、武器・馬具等が発掘されているんだよ。

何々、あらかわにもあるのかって？ いい質問だね。実はね、南千住六丁目の素盞雄神社の瑞光石、西日暮里三丁目の諏方神社が建っている小さな山等は、古墳の可能性が高いと考えられているんだよ。

あらかわにも古墳群があった？

東尾久六丁目の「下尾久尊」にお祀りされている地面から突き出た大きな石は、古墳の石室の一部だと考えられているんだ。すぐ近くの町屋四丁目夷揚遺跡からは古墳時代の土器等が沢山見つかっているよね。それに、隅田川沿いに

は「高木塚」「ダイダラボッチ塚」等と呼ばれた塚がいくつもあったんだよ。

尾久の十三坊塚って何だ？

尾久の旭電化通りの北側、尾久の原公園辺りは、「十三坊」という地名で呼ばれていた。上尾久村と下尾久村の境界に点々とあった「十三坊塚」がその由来だ。東尾久七丁目1番に史跡説明板が立っているよ。江戸時代の「新編武蔵風土記」という本によれば、十三坊塚の一つ「砂利塚」から、太刀・甲・冑のような物が掘り出されたそうだよ。大正時代、尾久町にあった旅館のおじさんのお話では、十三坊塚から掘り出した鶏の餌入れに使っていた金属製の器を人に譲ったところ、後で古い純金の器だと分ったんだって。びっくりしたろうね。これは古墳の副葬品だったんだね。今から100年ほど前までは高さ約0.9~1.5m、周囲約7.2~25.2mの塚が8基残っていた。でも、大正時代の工場用地の造成で、全て消滅してしまったそうだ。残念だね。十三坊塚は幻の塚になったけど、古墳の名残の地名「十三坊塚」は伝えていきたいね。



古墳時代の土器 (荒川ふるさと文化館蔵)